

Cisco Spaces

目次

製品の概要	3
機能と利点	3
製品機能	5
プラットフォーム アーキテクチャと機能	7
製品仕様	11
今すぐ始めましょう	11
シスコの環境保全への取り組み	12
Cisco Capital	12
スマートライセンスの概要	12
文書の変更履歴	13

Cisco Spaces は、すべてのシスコ ワイヤレス トポロジをサポートし、シスコのハードウェア (Aironet、Catalyst、Meraki) 間で互換性があります。30 日間の無料トライアルを開始するか、dnaspaces-sales@cisco.com に電子メールを送信してデモを依頼してください。

製品の概要

デジタル化は、あらゆる業界の基盤を揺るがし、経済を変え、ビジネスモデルを再構築しました。デジタル化する企業は、ビジネス上の意思決定や競合他社に対する戦略的優位性を得るために、人やモノに関する行動データを使用します。

しかし、物理的なスペースに関しては、企業はデータの死角に直面します。人 (訪問者、ゲスト、従業員) とモノ (センサー、スマートデバイス、資産) の行動と、特定の空間での人とモノの相互作用に対する可視性は限られています。

シスコのネットワーク インフラストラクチャが接続性以上のものを提供し、物理的なスペースにあるデータの死角を排除できるとしたらどうでしょう。

Cisco Spaces についてご紹介します。これは、有線およびワイヤレスのお客様にロケーション解析、ビジネスインサイト、カスタマーエクスペリエンス管理、アセットトラッキング、安全性とコンプライアンス、IoT フリート管理、クラウド API などの豊富なロケーションベースサービスを提供することで、お客様のさらに大きな規模でのビジネス成果を可能にする、強力な、エンドツーエンドの、屋内ロケーション サービス クラウド プラットフォームです。

単一のダッシュボード インターフェイスを使用して、すべてのロケーション技術およびインテリジェンスを単一のエン트리ポイントから使用できます。Cisco Spaces は、業界で最もスケーラブルなロケーションベースのサービスプラットフォームを提供し、既存の Cisco Aironet、Cisco Catalyst、および Cisco Meraki インフラストラクチャとの互換性と、Cisco Collaboration エンドポイントの選択およびさまざまな展開オプションのサポートを備えています。

機能と利点

表 1. Cisco Spaces の機能と利点

機能	利点
動作メトリック	施設内での人と資産の動作を把握し、業界と組織のパフォーマンスを比較します。
影響分析	ロケーション動作に対するイベントとレイアウト変更の影響を測定します。
ロケーション分析	人と資産の動作を把握し、ビジネス基準に基づいてカスタマイズされたビューとレポートを作成します。
ロケーション階層	ビジネス分類をネットワーク インフラストラクチャにマッピングし、事業部門ユーザーが直感的に使用できるようにします
密度ルールを使用した Right Now	スペースに現在何人いるかを把握し、密度、占有率、または人数の制限に達したときに通知をトリガーします。

機能	利点
Meraki Video カメラメトリック	Meraki Video カメラを使用して、リアルタイムの訪問者数の測定値として、足跡の数と履歴の傾向をレポートします。
ロケーションペルソナ	訪問時の行動に基づいて訪問者をプロファイリングおよびセグメント化し、それを使用して正確なエンゲージメントのために特定の訪問者をターゲットにします。
キャプティブ ポータル	訪問者を取得して識別し、企業のアイデンティティにマッピングします。
エンゲージメント	複数のチャネル（SMS、電子メール、アプリケーションプッシュ、API トリガー、Cisco Webex Teams など）を介して訪問者と従業員に通知をトリガーします。
資産ロケータ	資産の特定と監視、異常の監視と検出、アラートによる運用と応答時間の最適化、およびエンタープライズシステムとの統合。
プロキシミティレポート	ある場所において周辺の他のデバイスに近接している、デバイスの潜在的な脅威のリスクについてのインサイトを得ます
屋内 IoT サービス	オンボーディング、管理、モニタリング、およびサポートを通じて、複数のデバイス、アプリケーション、およびユースケースを有効にします
パートナー アプリケーション センター	業界固有の検証済みパートナーアプリケーションのエコシステムにアクセスします。
Firehose API	クラウドベースの高性能、低遅延、リアルタイムストリーミング API の利点があります
エンタープライズ統合	エンタープライズ ソフトウェア（CRM など）と統合して、ロケーションデータでアプリケーションを補完します。
シスコ製品の統合	シスコ コラボレーションおよび Meraki 製品と統合して、ロケーションサービスを強化します
パートナーダッシュボード	ダッシュボードからストリーミングデータを取り込む新しいアプリケーションを作成し、特定の使用例を有効にします
検出と検索（詳細）	MAC または IP アドレスに基づいてデバイスのロケーションを検索し、詳細なデバイスロケーション履歴を表示します
OpenRoaming	ゲストネットワークのシームレスでセキュアなワイヤレスオンボーディングを可能にします
Cisco Spaces SDK	iOS または Android アプリケーションを Cisco Spaces アカウントと統合して、新しいロケーションサービスを有効にします

製品機能

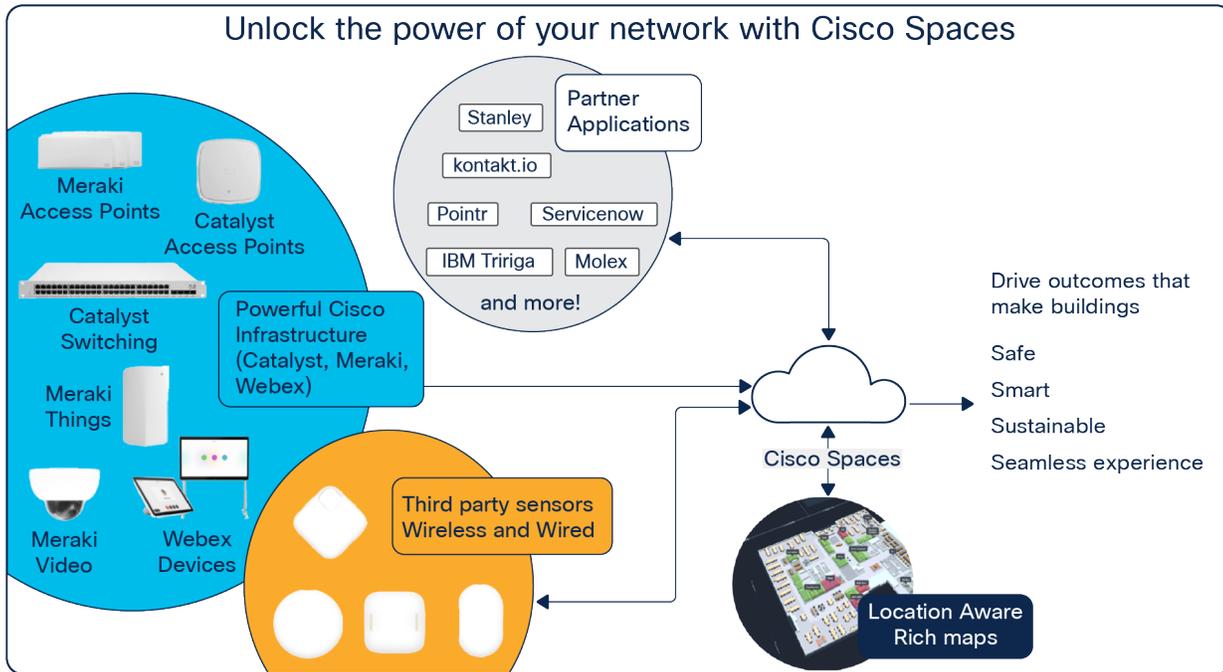


図 1.

Cisco Spaces 統合ロケーションクラウドは、複数のセンサーとプロセスからの入力を取得し、データをフィルタリングしてクレンジングし、このデータに基づいて動作するツールキットを提供します。また、パートナー（独立系ソフトウェアベンダー、エンタープライズソフトウェア、およびビジネス成果を上げるためのソリューションパートナー）がこのデータにアクセスできるようにします。

表 2. その他の利点

See	Extend	Act
ビジネスインサイトの取得	パートナーサービスへの拡張	デジタル化ツールキットの活用
動作メトリック 人と資産が自分の資産内でどのように動作するか。	パートナー アプリケーション センター Cisco Spaces App Center を使用して、業種に重点を置いたロケーションベースのサービスアプリケーションを検出します	キャプティブ ポータル 訪問者を取得して識別し、企業のアイデンティティにマッピングします
ロケーション分析 特定の場所および期間における行動パターンは何か。	Partner Firehose API 信頼性の高い、高品質のロケーション、環境、および訪問者データをパートナーに提供し、ユーザーのプライバシーとデータセキュリティを強力に実施します	ロケーションペルソナ 行動に基づいて訪問者をプロファイルおよびセグメント化します

See ビジネスインサイトの取得	Extend パートナーサービスへの拡張	Act デジタル化ツールキットの活用
ベンチマーク 業界や組織とパフォーマンスを比較します	パートナーアプリケーションのモニタリング オンプレミスのパートナーアプリケーションからのロケーションデータをエンドツーエンドでモニタリングします モニタリングおよびサポートダッシュボードにより、パートナーアプリケーションをモニタリングおよびサポートします	エンゲージメント 複数のチャンネル（SMS、電子メール、アプリプッシュ、APIトリガー、Webex Teams など）を介して訪問者と従業員に通知をトリガーします。
ロケーション階層 ビジネス分類をネットワーク インフラストラクチャにマッピングします	ストリーミングデータのエクスポート ビッグデータ、分析、エンタープライズアプリケーションへの取り込みをサポートするように最適化されたカスタマイズ可能なストリーミングエクスポート	資産ロケータ 資産の特定と監視、異常の検出
検出と検索 (RSSI) クラウドベースの検出と検索、および RSSI ロケーション コンピューティング CMX 10 を使用したオンプレミスの検出と検索、および RSSI ロケーション コンピューティング	エンタープライズ統合 エンタープライズ ソフトウェアと統合して、ロケーションデータと関連付けます	検出と検索 (詳細) <ol style="list-style-type: none"> クラウドベースの検出と検索、およびデバイスロケーション履歴による RSSI ロケーション コンピューティング HyperLocation のサポートによるクラウドベースの検出と検索
Right Now (密度トリガーなし) スペース内の人とデバイスの数を監視します	特殊な RTLS アプリケーションのサポート クラウドおよびオンプレミスの Firehose API を使用した、特殊なパートナー RTLS アプリケーションのサポート	Right Now (密度トリガーあり) スペース内の人数を監視し、密度のしきい値に到達または超過したときに通知を送信します
影響分析 ロケーション動作に対するイベント、キャンペーン、またはレイアウト変更の影響を測定します	Cisco Spaces See 内のすべてを含む	プロキシミティレポート ゾーン、フロア、建物、および他の人との接触があった可能性における健康上の問題の影響を要約します
Cisco DNA Center の統合 Cisco Spaces と Cisco DNA Center の間でフロアマップと階層の同期を維持し、IT の使用例のために Cisco DNA Center にロケーションデータを送信します		屋内 IoT サービス 大規模かつ大幅に低い TCO で IoT デバイスとアプリケーションを導入します。広範な BLE タグ、ビーコン、およびその他のセンサーを導入して使用例を拡大します
カメラメトリック Meraki Video カメラを使用して、リアルタイムの訪問者数の測定値として、足跡の数と履歴の傾向をレポートします。		ハイパーロケーション/FastLocate Cisco Spaces コネクタの使用
OpenRoaming 有線および Wi-Fi ネットワークへのセキュアでシームレスなゲストオンボーディング		Cisco Spaces Extend 内のすべてを含む

プラットフォーム アーキテクチャと機能

Cisco Spaces は、Cisco Aironet、Cisco Catalyst、Cisco Meraki 製品とソリューションならびに Webex エンドポイント全体での互換性と相互運用性により、すべてのシスコワイヤレストポロジをサポートします（図 2 を参照）。

接続方法：

1. Cisco Aironet WLC 8.0 および Cisco Catalyst 9800 シリーズ WLC 16.12.1 以降に接続するには、Cisco Spaces コネクタを使用します。これは、ワイヤレス LAN コントローラベースのネットワークに接続するための推奨されるアプローチです。
2. クラウド間統合により、Meraki ネットワークを Cisco Spaces クラウドに直接接続します。
3. CMX をオンプレミス 10.6 以降でテザリングしますが、これはすべての使用例をサポートするわけではないため、Cisco Spaces コネクタが推奨されます。

オンプレミスの CMX が必要な場合

オンプレミスの CMX サーバーは、エアギャップインストールまたは Cisco Prime との自動統合を使用しているお客様に必要です。Cisco DNA Center との自動統合を含むその他のすべての使用例では、CMX は必要ありません。

4. 一部の限定導入では、Cisco Catalyst 9800 シリーズ WLC 16.12.1 以降または AireOS WLC 8.5 以降を Cisco Spaces クラウドに直接接続できます

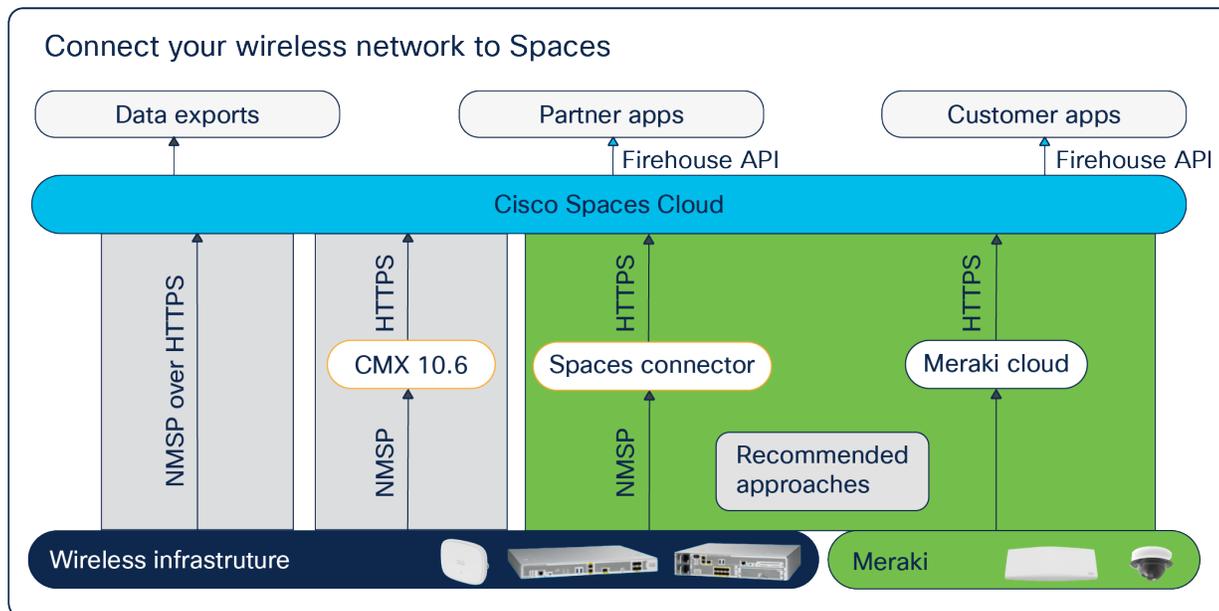


図 2.
すべてのネットワーク インフラストラクチャに対応

表 3. 接続のタイプに応じた機能の互換性

機能	Cisco Spaces コネクタ	WLC ダイレクト	CMX オンプレミス	Meraki
デバイスのロケーションの計算	対応、クラウドのロケーション	対応、クラウドのロケーション	対応、CMX はオンプレミスでデバイスのロケーションを計算します	Meraki クラウドで実行
Hyperlocation または FastLocate を使用するためのロケーションの計算	対応	非対応	対応	非対応
OpenRoaming	対応	非対応	非対応	対応
API モニタリング	対応	非対応	非対応	非対応
パートナー アプリケーションセンター	対応	非対応	非対応	対応
屋内 IoT サービス	対応	非対応	非対応	非対応

表 4. 分析タイプとオンプレミス要件に応じた機能の互換性

機能	ライセンス	X/Y ロケーションまたはプレゼンス	CMX オンプレミス。必須
Cisco DNA Center の統合	See	X/Y	非対応
Prime Infrastructure の統合	See	X/Y	対応。Prime Infrastructure は CMX とのみ統合
動作メトリック	See	プレゼンス	非対応
OpenRoaming	See	プレゼンス	非対応
ロケーション分析 (フロアレベル)	See	プレゼンス	非対応
検出および検索 (RSSI) (履歴なし)	See	X/Y	非対応
パートナーストリーム	Extend	X/Y	非対応
サードパーティ アプリケーション用のロケーション API/Webhook	Extend	X/Y	非対応
Partner Firehose API	Extend	X/Y	非対応
ロケーションペルソナ	Act	プレゼンスまたは X/Y	非対応
資産ロケータ	Act	X/Y	非対応
屋内 IoT サービス	Act	プレゼンスまたは X/Y	非対応
Cisco Spaces SDK	Act	プレゼンスまたは X/Y	非対応
ロケーション分析 (ゾーンレベル)	Act	X/Y	非対応

機能	ライセンス	X/Y ロケーションまたは プレゼンス	CMX オンプレミス。必須
キャプティブ ポータル	Act	プレゼンス	非対応
エンゲージメント	Act	プレゼンスまたは X/Y	非対応
HyperLocation	Act	X/Y	非対応
検出と検索 (RSSI) (履歴あり)	Act	X/Y	非対応

表 5. Cisco Spaces See、Extend、Act に含まれる機能

機能	Cisco Spaces See ライセンス	Cisco Spaces Extend ライセンス	Cisco Spaces Act ライセンス
動作メトリック	✓	✓	✓
ロケーション分析	✓	✓	✓
Right Now メトリック	✓	✓	✓
Meraki Video カメラメトリック	✓	✓	✓
OpenRoaming	✓	✓	✓
影響分析	✓	✓	✓
検出および検索 (RSSI) (履歴 なし)	✓	✓	✓
ロケーション階層	✓	✓	✓
パートナーストリーム		✓	✓
Partner Firehose API		✓	✓
パートナー アプリケーション セン ター		✓	✓
ストリーミングデータのエキスポート		✓	✓
エンタープライズ統合		✓	✓
サードパーティ アプリケーションの API/WebHook の検出と検索		✓	✓
サードパーティ アプリケーションの API/WebHook の検出と検索 (クライ アント履歴あり)			✓
キャプティブ ポータル			✓
ロケーションペルソナ			✓
エンゲージメント			✓

機能	Cisco Spaces See ライセンス	Cisco Spaces Extend ライセンス	Cisco Spaces Act ライセンス
密度ルール			✓
資産ロケータ			✓
プロキシミティレポート			✓
屋内 IoT サービス			✓
検出と検索 (履歴あり)			✓
ハイパーロケーション/FastLocate			✓
ロケーション分析 (ゾーンレベル)			✓
Cisco Spaces SDK			✓

Cisco Spaces は、3 年、5 年、または 7 年のライセンス期間で、アクセスポイント単位でライセンスされます。

表 6. Cisco Spaces の製品 ID と説明

製品 ID (PID)	説明
DNAS	Cisco Spaces トップレベル PID
DNAS-SEE	Cisco Spaces See : 3 年、5 年、7 年
DNAS-EXT	Cisco Spaces Extend : 3 年、5 年、7 年
DNAS-ACT	Cisco Spaces Act : 3 年、5 年、7 年
SVS-DNAS-SUP	Cisco Spaces サブスクリプションサポート (Cisco Spaces See、Extend、または Act サブスクリプションに含まれます)
MERAKI-DNAS-T-BUN	Meraki Wi-Fi6 AP + Meraki ライセンスで購入できる Meraki + Cisco Spaces Bundle プロモーション SKU。3 年間または 5 年間

Cisco Spaces ライセンスは、ユーザーに次の権限を付与します

1. CMX オンプレミス
2. オンプレミスの CMX のサポート
3. Cisco Spaces クラウド機能

お客様は一部の機能のみを使用するように選択できますが、すべての機能の権限を付与されます。

製品仕様

Cisco CMX 10 ソフトウェアは、CMX 3375 ハードウェアアプライアンスと Cisco CMX 仮想アプライアンス (vMSE) の 2 つのプラットフォームにインストールして、オンプレミスでロケーション計算を行うことができます。仮想マシンオプションを選択する場合は、基盤となる物理ホストの仕様を、コンピューティング、メモリ、および SSD ディスクドライブの点で CMX 3375 アプライアンスと一致させることをお勧めします。

表 7. Cisco Spaces に接続するためにオンプレミスで必要なソフトウェアコンポーネント

アプライアンス	RSSI		Hyperlocation (FastLocate を含む)		Analytics	Movement
	アクセスポイントの数	1日あたりの固有 MAC 追跡デバイスの数	アクセスポイントの数	1日あたりの固有 MAC 追跡デバイスの数	ゾーン数	1秒あたりの NMSP メッセージ数
CMX 3375	10,000	100,000	1000	10,000	1000	2500
ハイエンド仮想アプライアンス	10,000	90,000	1000	10,000	1000	2500

Cisco Spaces コネクタ VM の場合、すべての計算はクラウドで行われます。Cisco Spaces コネクタ VM の構成は、3 つのサイズで提供されます。Cisco Spaces コネクタの唯一の制限は、NMSP メッセージ数が毎秒 10,500 であることです。

CMX 3375 およびハイエンド仮想アプライアンスの場合、ロケーション計算はオンプレミスで行われます。

表 8. Cisco Spaces コネクタの最小システム要件

項目	サポート要件
vCPU	2/4/8
RAM	4/8/16 GB
ハードディスク	60 GB

今すぐ始めましょう

Cisco Spaces は、すべてのシスコ ワイヤレス トポロジをサポートし、シスコのハードウェア (Aironet、Catalyst、Meraki) 間で互換性があります。デモについては、dnaspaces-sales@cisco.com に電子メールでお問い合わせください。

シスコの環境保全への取り組み

シスコの[企業の社会的責任](#) (CSR) レポートの「環境保全」セクションでは、製品、ソリューション、運用、拡張運用、サプライチェーンに対する、シスコの環境保全ポリシーとイニシアチブを掲載しています。

次の表に、環境保全に関する主要なトピック (CSR レポートの「環境保全」セクションに記載) への参照リンクを示します。

持続可能性に関するトピック	参照先
製品の材料に関する法律および規制に関する情報	材料
製品、バッテリー、パッケージを含む電子廃棄物法規制に関する情報	WEEE 適合性

シスコでは、パッケージデータを情報共有目的でのみ提供しています。これらの情報は最新の法規制を反映していない可能性があります。シスコは、情報が完全、正確、または最新のものであることを表明、保証、または確約しません。これらの情報は予告なしに変更されることがあります。

Cisco Capital

目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital により、目標を達成するための適切なテクノロジーを簡単に取得し、ビジネス変革を実現し、競争力を維持できます。総所有コスト (TCO) の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 カ国あまりの国々では、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および他社製製品を購入するのに、シスコの柔軟な支払いソリューションを利用して、簡単かつ計画的に支払うことができます。[詳細はこちらをご覧ください](#)。

スマートライセンシングの概要

シスコ スマート ライセンシングは、シスコ ポートフォリオ全体および組織全体でソフトウェアをより簡単かつ迅速に一貫して購入および管理できる柔軟なライセンス モデルです。また、これは安全です。ユーザーがアクセスできるものを制御できます。スマートライセンスを使用すると、次のことが可能になります。

- **簡単なアクティベーション**：スマートライセンスは、組織全体で使用できるソフトウェアライセンスのプールを確立します。PAK (製品アクティベーションキー) は不要です。
- **管理の統合**：My Cisco Entitlements (MCE) は、使いやすいポータルですべてのシスコ製品とサービスの完全なビューを提供するので、取得したもの、使用しているものを常に把握できます。
- **ライセンスの柔軟性**：ソフトウェアはハードウェアにノードロックされていないため、必要に応じてライセンスを簡単に使用および転送できます。

スマートライセンスを使用するには、まず Cisco Software Central でスマートアカウントを設定する必要があります (software.cisco.com)。

シスコライセンスの概要については詳しくは、cisco.com/go/licensingguide を参照してください。

文書の変更履歴

新規トピックまたは改訂されたトピック	説明箇所	日付

シスコ コンタクトセンター 

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。
製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

お問い合わせ先
お電話での問い合わせ
平日 9:00 - 17:00
0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム
cisco.com/jp/go/vdc_callback



©2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。
本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間の
パートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は2023年4月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
cisco.com/jp